

●演習ワークシート

演習日： 月 日

研修生番号：

研修生氏名：

事例 1

症例：76 歳，男性

小細胞肺がんでカルボプラチン＋エトポシド療法中。
カルボプラチン点滴中に血管外漏出で受診した。

紫斑や潰瘍形成はなく，疼痛も軽度。



意識	血圧	SpO ₂	心拍数
清明	120/90mmHg	96%	16 回/ 分

演習課題 1

特定行為を行う基準は満たしているか検討してください。
(特に緊急性のある局所症状の基準が思いつくか?)

●演習ワークシート

事例 2

症例：16 歳，女性

右前腕デスマイド腫瘍に対し，メトトレキサート+ビンブラスチンで治療中。

3 日前にビンブラスチンの血管外漏出が生じたが，デルモベート軟膏と温罨法で改善傾向であった。

起壊死性抗がん剤のため，皮膚科コンサルとなった。

軽度の腫脹のみで硬結や熱感などもなし。



演習課題 2

適切な対応を検討してください。

●演習ワークシート

事例 3

症例：2 歳，女兒

左網膜芽細胞腫に対し，VEC（V.ビンクリスチン，E. エトポシド，C.カルボプラチン）で治療中．

ポート部の腫脹あり．

化学療法と関連のない，ソルデム 1 投与中の腫脹であり，看護師が迅速に発見した．

腫脹・紫斑も強く，疼痛あり．

意識は清明で会話可能．

神経症状などはなし．



演習課題 3

特定行為を行うときに確認すべき事項と基準は満たしているか検討してください．